

大雪対策として「特別交付税」「除雪費補助」を実現！

この冬は県内各地で大雪になり「除雪予算を使ってしまい、急ぎょ補正予算を組んだ」という市町村もありました。

除排雪予算不足を補うため、1/19総務省に特別交付税の繰り上げを要望。国土交通省には道



路除雪費用の交付を要望しました。要望の結果、総務省は2/25に県内30市町村に大雪対策として特別交付税の繰り上げを決定。

3/2に再度リモート会議にて国交省に道路除雪費の補助について要望。これを受けて3/18には国交省が道路除雪費の交付を決定。総務省も大雪対策に重点を置いた特別交付税の交付を決定しました。

今年は実態にあった交付を強く要望、国もこれに応じて3月頭

ギリギリまで調査を行い算定、実際の除雪費に近い額が交付されたと市町村にも喜んで頂きました。



4/11 決算委員会 新電力 供給停止 緊急対策 質問

県内の工場や商店から悲鳴が届いた！

原油高騰にウクライナ情勢も加わって電気料金が急激に上がり、安さを魅力に契約していた「新電力」が次々供給を止め廃業・撤退・倒産。電力不足で別の



会社でも新規契約が出来ない。4/11決算委員会で萩生田経産大臣に質問。

こうしたケースは特に3月に急増、4月以降更に増えている。『最終保障供給』があり、次の会社が見つからなくとも大手電力会社ネットワーク等が電力供給を保障するが、料金は1.2倍。電気料金の負担増が経営を脅かしている。

また、大手電力会社も実際の発電コストは、今1.2倍の料金を大きく越えており大手も赤字で電力を供給させられる大変な状況になっている。

大手も新電力も、双方に緊急な支援が必要。電力料金の安定

と供給確保を強く求めた。



山形県参議院議員 芳賀道也 活動報告

はがみちや HAGA MICHICHIYA Times

発行元：芳賀みちや通信会 ☎990-0825 山形県山形市城北町1丁目24-15 ダイア66 城北2F-A TEL:023-676-5115 FAX:023-676-5116



4/25 年金世帯や中間層にも支援を要望

4/25決算委員会にて後藤厚労大臣に質問。「急激な物価高騰となり新型コロナで経済も疲弊する中、この4月から年金が0.4%下がった。こんな



ことで良いのか！年金世代や現役世代へも支援が必要だ！」と要請。

後藤大臣は「4月末

までに内閣として物価高騰対策を検討しているところだ。生活を立て直すための対応を進めたい」と前向きな答弁だったが、その後報道された緊急支援策では非課税世帯への子ども1人あたり5万円という支援だけ。全くたりない！支援が抜け落ちている全ての皆さんへのサポートを引き続き求めています。



3/9 本会議で原油高騰などの対策を要望



参議院本会議にて地方税法・地方交付税法の質問に立ちました。

ガソリン税や軽油引取税の特例課税を止めてガソリン・軽油

価格の引き下げをはかる「トリガー条項」の発動を要望。「あらゆる選択肢を排除することなく、政府全体でしっかりと検討する」と鈴木財務大臣、金子総務大臣が答弁。

その後、野党の要望を入れて2月時点で1リットルあたり最大5円だった元売りへの補助が、4/26には最大35円まで引き上げられました。さらに、国民民主党の要望を入れて与党も「トリガー条項発動と同等の160円にし、実質トリガー発動と同じにする」という回答もありました

が、基準となるガソリン価格も172円から168円に引き下げられたものの、まだ160円には届いていません。しかし、ガソリン、軽油、重油、灯油だけではなく、国民民主党が要望した航空機燃料、タクシー用のLPガスも対象とすることが認められました。引き続き、国民に必要な政策が実現するよう全力で取り組みます。



「野党だから地方交付税少ない」金子総務相はつきり否定



同じく3/9の本会議にて総務大臣に質問。

昨年2021年1月の県知事選挙で自民党の関係者から「知事が野党だから隣の県より地方交付税が少ない」という事実と違う残念な主張がありました。

金子総務大臣は「知事や市町村長がどなたであるかによって交付額が変わることはありません」と明確に否定。

「与党でなければお金が来ない」ということがウソであることを証明してくれました。

山形県 参議院議員

芳賀道也

【山形事務所】
〒990-0825
山形県山形市城北町1丁目24-15
ダイア66城北 2F・A
TEL 023-676-5115 FAX 023-676-5116

【国会事務所】
〒100-8962
東京都千代田区永田町2丁目1-1
参議院議員会館 917号室
TEL 03-6550-0917 FAX 03-6551-0917



消防団の待遇改善 人件費 交付実現

尾花沢市を始め地元から要望のあった消防団員の年額3万6500円と災害出動一日8000円の報酬が4月から実現しました。

これまで山形県など特に山間部では、消防団員が多く必要で、人口割りによる標準的な消防団

員数よりも二倍近い団員がいて、人数が多い分一人一人の報酬が減ってしまい1万数千円という市町村もありました。

舟山やすえさんとともに総務省・消防庁に要望。

標準的な団員数の二倍までなら実際の団員数に応じて国から

交付税が交付されることになりました。



やまがた夏旅 (県民割) 延長！

「やまがた夏旅(県民割)」が更に1ヶ月延長、6月末までとなりました。



県内の観光・宿泊・飲食

など関連する皆さんにとって切実な観光支援。「冬旅・春旅」も何度も延長を要望。

対象者全員検査など感染対策で経済を動かす事は可能です。



子どものコロナワクチン 全員には 推奨せず

国会内の会合で、日本小児科医会の伊藤隆一副会長は、5歳から11歳の子どもへのコロナワクチンは極めて慎重な判断が必要と説明。『推奨出来るのは感染すると重症化する恐れのある小児

とその兄弟姉妹など』と報告。

理由として米国や日本では子どもへの申請が認められたが、そもそも子どもはほとんど重症化しない中で『接種する「リスク」より「効果」の方が明らかに

大きいと認められない』として許可を見送った先進国もあることを挙げていた。

特に11歳以下の接種はかかりつけ医師などとよく相談して慎重に判断してください。

子宮頸がんワクチン無料接種 実現

地元医師の要望が実現！二年前の厚労委員会で質問した子宮頸がんワクチンを未接種の方が大人になり希望した場合の『無料接種』が実現した。

また、ワクチンはあくまで任意であることから、同時に要望したより科学的な新しい検診による早期発見についても3月に答申が出され動き出した。

また、国がHPVワクチンを推奨に戻しても不安があれば接種は進まない、被害解決と研究の推進も強く求めている。

国会議事堂前の山形県の木「さくらんぼ」に受粉

4/12参議院議員になって初めて、**舟山やすえさん**とともに「さくらんぼ受粉作業」に参加。コロナで



三年ぶりに行われました。国会議事堂の前に植えられているさくらんぼは参議院側に「佐藤錦」と「紅さやか」、衆議院側に「佐藤錦」と「紅秀峰」です。



保育と福祉の現場は人手不足、給料安い！2/7リモート会議



2/7山形事務所と各地の保育・福祉現場の方々とのリモート会議を開催。

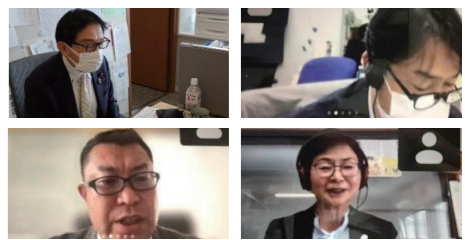
保育と介護・障がい者福祉の現場では、ヘルパーさんや職員の人手が慢性的に足りません。

政府が給与引き上げ策を何度も実施しているはずですが、多くの現場では給与が低いままです。請願など国会活動を通じて待遇改善に向けて応援することをお約束しました。

重機など運搬する大型車の許認可「手間がかかり、遅い！」

3/1リモート会議を開催。山形県の地元の運送会社の方、行政書士の先生と国交省・復興庁をつなぎ要望の場を設けました。工事現場その他に、重機など

を運搬する運送会社の方が、大型車の運行許可と道路通行の特別な許認可を取る際に、時間と手間がかかる問題について国交省などに、その解決を直接要望。



アスベスト規制厳格化 一人親方・中小工務店の解体工事を可能に



この4月から小規模な工事費100万円または80平方メートルを越える改装改築も厳格なアスベストの対策が義務づけられました。3/1にリモート会議を開催。アスベストを含むと思われ

る建物の改装や解体工事についての規制強化の概要、中小工務店への支援策、アスベスト診断士などについて、地元の建設労働組合の方と共に厚生労働省・環境省に直接要望しました。

米沢市議会「至誠会」の皆さんとリモート会議で政府に要望

米沢市議会「至誠会」の皆さんとともに1/31-2/2の3日間、リモート会議を設定して、農水省・厚労省・総務省・国交省・観光庁に地元の要望を伝え、それぞれ

回答をもらいました。現場の声を「霞ヶ関」に伝える場として、非常に意義深い時間になりました。



「金パラ」など歯科材料価格改定 年四回・5月緊急改定 実現！

歯科医療に使う金銀パラジウム等貴金属の価格高騰が続き、多くの歯科医が「逆ザヤ」に悩んでいます。

厚労委での質問や要望を通じて今年1月歯科医療貴金属の価格、無条件で年四回改定を実現。

3/23には山形市歯科医師会

の小関会長と共にリモート会議を通じて、厚生労働省保健局医療課などに更に柔軟な価格対応と代替保険材料の拡大等を直接

要望。4/13中医協でウクライナ情勢を受けて5月の「緊急改定」も実現しました。

